

野生生物共生センター周辺はすっかり雪景色となり、スタッフたちは雪かきに追われています。毎年この時期は、ハクチョウやカモ類など水辺の冬鳥や、若い猛禽類の搬入が多くなります。

動物管理員の仕事について

保護された動物たちの毎日の世話やリハビリをおこなっているのが「動物管理員」です。その他にも、獣医師の治療の補助、清掃や修繕などの施設管理、事務作業など様々な仕事をおこなっています。では、実際にどのような仕事をしているのか、その一部をご紹介します。

傷病動物の受け入れ

搬入された動物は直ちにオパ室へ運び、診察と治療をおこないます。傷病動物は何が、いつ、どんな状態で搬入されるかわからないため、多様なパターンに臨機応変に対応するために、様々な医薬品や飼料、道具、資材などのほか、その動物の生態や食性などの知識や、飼育経験も必要です。

治療、強制給餌

入院して間もない動物だけでなく、当日異常があった動物を獣医師と診察し、指示された投薬や、自力で餌を食べることができない動物への強制給餌もおこないます。

動物の給餌、施設の清掃

その他全ての動物の状態チェックと給餌、各収容施設の掃除をおこないます。

動物のリハビリ、野生復帰

治療を終えた動物は、復帰訓練施設で野生へ帰るための運動や訓練をおこないます。野生復帰が可能であるという一定の条件が満たされた動物は、原則としてその動物が保護された場所に赴いて放鳥・放獣しています。



診察の様子



強制給餌



フクロウの放鳥

その他

復帰訓練施設の作製、修繕

復帰訓練施設のほとんどは、動物の生態に合わせてスタッフが手造りしたもので、修繕もできる限り自分たちでおこないます。今ある施設で足りなければ、いちからレイアウトを考え新たな訓練施設を建てることもあります。

施設、敷地内の清掃

飼育施設以外の敷地内の清掃。野外では春から夏にかけて草刈、秋は落ち葉掃き、冬は除雪などをおこないます。

事務仕事

各動物のカルテやデータ整理、予算管理、医薬品管理、広報誌の作成など。

以上のように、動物の世話だけでなく、体力仕事などもあり、仕事内容は多岐にわたります。

私たち動物管理員が気を付けていることとして、もう一つ皆さんに知って頂きたいことがあります。野生動物はペットや家畜などの動物と違い、人に馴らしてはいけないうことです。むしろ人を怖がる方が正常な反応です。人に馴れることで様々な弊害が起り、動物自身も本来野生で生きていく力が失われてしまう場合もあるからです。しかし、動物に触れないならば治療をすることはできません。ケガを治すだけでなく、人の手にかかり一度近づいてしまったその距離を再び野生の距離に戻していくことも大事な「リハビリ」なのです。

動物管理員は皆、元々動物が好きな職員です。心の中では全ての動物たちを野生に帰してあげたいという愛情を持って毎日世話をしています。時には懸命に世話をしても助からない命があり、悲しい思いをしたり、楽しいことばかりではありません。

だからこそ、無事野生に帰すことができた瞬間は、私たちにとって、この上ない喜びを感じる瞬間なのです。

平成 30 年 1 月 5 日 福島県環境創造センター 附属 野生生物共生センター

あだたら 森の回覧板



クマタカ

Vol. 3 冬号



【ホンドタヌキ保護情報MAP】

野生生物共生センターでは現在、「ホンドタヌキ保護情報マップ」を展示しています。

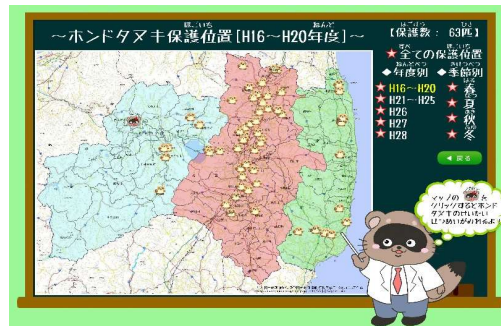
こちらは、平成16年度から平成28年度までの間に県内で交通事故に遭い、搬入されたホンドタヌキの保護情報を基に、MOGコンサルタント株式会社さんが作成され、ご厚意により来館者の方向けに展示させて頂いております。

マッピングされたホンドタヌキの保護状況を年度別や季節別にご覧になることができます。

また、野生動物が交通事故により死んでしまう「ロードキル」について、キャラクターを使ってわかりやすく解説してくれます。

ロードキルがホンドタヌキで多い原因や、ロードキルを起きにくくする方法についても学ぶことができますので、ぜひ野生生物共生センターまでお越しになってご覧ください。

冬は秋に次いでホンドタヌキの交通事故が多い季節ですので、車を運転する際にはお気を付けてください。MOGコンサルタント株式会社さんにはこの場をお借りして御礼申し上げます。



野生生物共生センターでは、野生動物の剥製やパネルの展示、映像放映等をおこなっており、入館料無料で自由に見学・閲覧できます。救護棟、野外訓練場は立入禁止ですが、屋内訓練場にて野生復帰訓練をおこなっている場合は、観察コーナーからその様子をご覧いただけます。詳しくは... [HP](#) [環境創造センター](#) [検索](#)

発行: 福島県野生生物共生センター
〒969-1302
福島県安達郡大玉村玉井字長久保 67
電話 0243-24-6631
(9:00~17:00 月曜休館日)

本誌内の文章・画像等の無断転載および複製等の行為はご遠慮ください。

バードセーバー作り

「バードセーバー」とは、鳥に窓ガラスの存在を知らせて「バードストライク」を防止するために窓ガラスに貼るステッカーです。人工物への鳥類の衝突事故を「バードストライク」といいます。

野生物共生センターに搬入される野鳥の救護原因でも、昨年度はバードストライクが全体の約15%で、交通事故について2位となっています。

バードストライクを起こす人工物としては、窓ガラス、風力発電機、飛行機、灯台などが知られています。ここでは、みなさんの最も身近にある「窓ガラス」への衝突事故を考えてみましょう。

鳥類が窓ガラスに衝突する理由は、窓ガラスに写った空や樹木などを本物と勘違いして飛び込んでしまうからだといわれています。そのため、スズメやカラス、ムクドリ、ヒヨドリなど、人家周辺でよく見られる都市鳥よりも、キビタキやシメ、カワラヒワ、ウグイスの仲間など、公園や森林に生息する鳥の方がバードストライクを多く起こす傾向があるようです。

そこで、野生物共生センターでは、バードストライクについて考えて頂くために、「バードセーバー」を作るワークショップを開催しています。少しでも事故を減らせるように、みなさんも参加してみませんか？



色を塗ります



ラミネートします



窓に貼りましょう

クイズコーナー

クイズ①

お子様向け 難易度 ★☆☆

わたしはだ〜れ？



まえあし ほんゆび
前足の4本指をつかって、
じょうず
上手にものをつかむよ！
おもに樹の上にすみ、朝や
ゆうがた
夕方によく動くことが多いよ！

クイズ②

中・高生向け 難易度 ★★☆☆

どっちがどっち？

カモとガンは同じガンカモ科に分類されている。見た目では区別できるが一番の違いは大きさで、比較的小型の種類をカモ、大型の種類をガンと呼んでいる。大きさで、一般的に1年に2回羽が生え変わる(換羽)のはどっち？

A. カモの仲間 B. ガンの仲間



(マガモ♀)



(カリガネ)

クイズ③

大人向け 難易度 ★★★

生物多様性クイズ

希少野生生物を守るため、生息環境保全、乱獲防止、種の保護増殖など国際的な取り組みが行われています。では日本国内での希少野生生物の取り扱いなどを規制している法律は？

- A. ワシントン条約
- B. 種の保存法
- C. 動物愛護管理法

(参考：環境省自然環境局野生生物課)

オオミスナギドリをアクアマリンへ移送しました

11月下旬に南会津町でオオミスナギドリが保護されました。

オオミスナギドリは海洋上で生活する「海鳥」と呼ばれる水鳥の仲間です。南会津町のような内陸の山間部では通常見られる鳥ではなく、強風などの悪天候で運ばれてしまったと考えられます。

このような迷入は実は珍しいことではなく、今年はこの他にも郡山市と会津若松市でそれぞれ外傷がない迷入個体が保護され、昨年と同じ時期にも、福島市と郡山市で保護されました。

なぜこのようなことが起きるかという点、オオミスナギドリの生態と大きく関係しているのです。

オオミスナギドリは、春から夏にかけて沿岸や沖合の島で集団繁殖し、11月頃に南の暖かい海を目指して移動します。その途中で悪天候に遭ったり、渡りに慣れていない幼鳥が体力不足で内陸部へ飛ばされてしまうことが起きるのですが、通常は海洋上で生活しているため、一度地面に落ちてしまうと自力で飛び立つことができず、人目についてこうして保護されてしまうのです。

今年保護された他の2羽はすぐに海岸へ運び、海風にのせて無事放鳥できたのですが、このオオミスナギドリは外傷はなくても体力が落ちていたため、二度の放鳥を試みましたが飛んでいくことができませんでした。

南への渡りの時期に間に合わなければ、仲間たちが帰ってくる春まで長期入院が必要となりますが、あいにく野生物共生センターは内陸の山の上に位置しており、海鳥を飼育する環境は整っているととても言えません。

そこで、海鳥の飼育環境が整っており、経験も豊富なアクアマリンふくしま（公益財団法人ふくしま海洋科学館）さんへ移送して、放鳥までのお世話をお願いすることとなりました。

福島県では、このような連携をとることにより、さまざまな動物の救護に対応しています。



アクアマリンふくしま



リハビリのため大水槽へ



野生復帰にはもう少しかかりそうです

(写真提供：アクアマリンふくしま)

【クイズのこたえ】

クイズ①：ニホンリス

(秋冬の大好物はクルミやマツボックリ。冬のあいだは、地面にうめておいたクルミなどをほり出して食べる。)

クイズ②：A. カモの仲間

(カモの仲間は夏から初秋にかけて繁殖期の羽(夏羽)、冬にかけて非繁殖期の羽(冬羽)に換羽する。ガンの仲間は年に1回新しい羽に生え換わるのみ。)

クイズ③：B. 種の保存法

(国内に生息・生育する、または外国産の希少野生生物を指定し、個体の取り扱い規制、生息地の保護、保護増殖事業の実施など保全に必要な措置を定めた法律。)